



▲ 司会の森山晃嗣と橋谷圭伊子



▲ 運営をサポートしたボランティアスタッフの方々

栄養療法が原点

統合療法から見えてくるのは、がんだけにとどまらず、アレルギーや認知症、不妊症など、全ての疾患に有効性が期待できることです。2日目最後のブロックでは、ケトン体で有名な宗田哲男先生が登場しました。今回の講演では、不妊症や

妊娠糖尿病、妊娠前から産後までの女性の体調不良の増加について「糖質過多、タンパク質と鉄不足」が主な原因とし、妊娠前からタンパクリッチ食（高タンパク低糖質）を心がけるとを呼びかけました。

今回のコンベンションでは「統合療法の考えなしでは、がんをはじめとする現代病に立ち

向かえない」ことを改めて痛感させられました。

現代人の食生活をはじめ、コロナ禍の社会と生活スタイルが、私たちの健康に今後どのような影響を与えるのか。いずれにしても、毎日の食事や栄養を見直し、免疫力を高めることが多くの疾患の予防や治療につながると言えるでしょう。

統合療法コンベンションが見放題



がんコントロール協会にご入会いただくと、過去に開催された統合療法コンベンション75講演の動画がいつでもご覧いただけます。今回の第27回の全13講演もご視聴いただけますので、見逃してしまった方、もう一度見たい方は、ぜひご入会ください！

入会はこちら



がんコントロール協会 検索
npo-gancon.jp

